

平成30年度決算に係る

定期監査調書

令和元年5月

埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	14頁
8	収入事務処理状況調べ	14頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	17頁
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	18頁
11	不納欠損額調べ	18頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	19頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	21頁
14	財産に関する調べ	22頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	24頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	26頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	27頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	寄附物件の受納状況調べ	28頁
19	備品の処分状況調べ	28頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	28頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
21	埋蔵文化財の調査と研究	29頁
22	埋蔵文化財保護思想の普及状況	30頁
23	埋蔵文化財関係職員等の研修	35頁
24	文化財保護の資料収集及び活用	35頁
25	出土品の整理及び木製品の再整理	35頁
○	意見・要望等	38頁
○	別紙資料	39頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
埋蔵文化財センター	総務担当	・埋蔵文化財の調査研究に関すること
	企画研究担当	・埋蔵文化財関係職員その他関係者の研修に関すること
	青谷上寺地遺跡 調査整備担当	・埋蔵文化財の発掘調査及び保存に係る指導及び 助言に関すること
	発掘事業室	・出土品の整理及び公開に関すること
		・埋蔵文化財発掘調査に係る記録の収集整理に関するこ
		・その他埋蔵文化財の保存及び活用を図るために 必要な事項に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成31年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該 年度	30.4.1 現在	当該 年度	30.4.1 現在	当該 年度	30.4.1 現在	当該 年度	30.4.1 現在	
定員	29	33	0	0	0	0	29	33	
現員	(5)	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(6)	()書きのうち、5は派遣(鳥取県 教育文化財団)
	27	31	1	1	0	0	28	32	
過不足(△)	△2	△2	1	1	0	0	△1	△1	過不足の1は技術職員への振替、 不足の1は派遣
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	21	5	0	0	0	0	21	5	一般事務2、 土品整理作業員19

5 役付職員の調べ

(令和元年 5月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
所長	北村 順一	1 年	1 月	
発掘事業室長	松井 潔	3 年	1 月	
次長	高田 章弘	1 年	1 月	出納員
課長補佐	北浦 弘人	3 年	1 月	
課長補佐	原田 雅弘	0 年	1 月	鳥取県教育文化財団派遣

6 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
鳥取県の考古学情報発信事業	11,662	4,844	6,805	13
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター等に保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用することで、児童・生徒を始めとする県民の方々の郷土の歴史や地域の埋蔵文化財への郷土愛の醸成を図る。 ・県民の方々に鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信し、地域振興や観光振興も図る。 ・「鳥取西道路」改築事業に伴う調査で出土した木製品の台帳作成、保存処理計画の検討 				
(イ) 事業の実施状況				
・展示見学等活用事業 (単位:人)				
事業内容(開催場所)	H30	H29	備考	
・施設見学、体験学習 ①施設見学、火起こし体験学習(当センター) ②古代まつり(当センター) ③夏休み、冬休みイベント(当センター) ④県立図書館での体験学習(県立図書館) (33頁「(3)普及イベントの開催」参照)	959 (69) (620) (245) (25)	860 (255) (605) — —	・学校からの施設見学が減少したが、小学生向けイベントを夏・冬に新規開催して普及啓発に努めた。	
・展示 ①常設展示(当センター) ②企画展示(当センター) 4回 ③大型商業施設での出前展示 2回(3回) (イオン鳥取北店・倉吉パープルタウン) (36頁「(2)出土品の展示公開」参照)	1,266 (363) (136) (767)	1,254 (287) — (967)	・出前展示(倉吉)は台風で1日減、西部はむきばんだが実施。 ・センター企画展示を新規開催して来館者増に努めた。	
・講演会 ①連続講座「鳥取県の考古学」 6回 (当センター) (32頁「オ 連続講座」参照) ②考古学フォーラム(とりぎん文化会館) 「古代のインフラを支えた土木技術」 1回 ・飛鳥、奈良時代に青谷横木遺跡の古代山陰道で使用されていた当時の最先端土木技術についてのフォーラム (32頁「カ シンポジウムの開催」参照) ③出前講演 28回(33回) (31頁「(2)普及講演等の開催」、36頁「(3)出前講演」参照) ④出前授業 4回(4回)	1,405 (173) 142 (874) (216)	1,752 — (480) (1072) (200)	・H30年度はH29年度より回数・規模とも縮小。「女子群像」板絵→古代のインフラ ・連続講座を新規開催して来館者増に努めた。	
・イベント 史跡等活用イベント 5回 (古代山陰道:鳥取市青谷町地内(2回開催)) (大崎城跡:鳥取市小沢見) (国史跡因幡国庁跡:鳥取市国府町) (県史跡天神山城跡:鳥取市湖山) (33~34頁「(3)普及イベントの開催」参照)	255 (102) (64) (38) (51)	— — — —	・新規に史跡、遺跡を活用したイベントを開催し、地域の歴史素材のPRを行った。	
合計	3,885	3,866		

・出土資料等の再整理・復元・公開を実施した。
再整理・復元出土品数：土器 21点 木製品 28点
(40頁「別紙」参照)

・市町村等への支援

出土品等の貸し出し、豪雨被害のあった県史跡金田瓦窯等の試掘調査に技術的支援を行った。
(37頁「(3)出土品等の貸出」参照)

・普及資料刊行事業

普及冊子「とっとり文化財紀行」を年3回刊行した。

・歴史授業(小・中・高校)への支援

教育センターと連携して教員研修を開催した。
授業づくりについて相談のあった学校と連携して授業づくり、授業実施を行った。

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・鳥取西道路関連の発掘調査成果を県民に知っていただくため連続講座を開催した。(土日臨時開館)
- ・常設展示に加え、企画展示を開催した。(土日臨時開館)
- ・古代まつりに加え、夏休み・冬休みイベントを実施
- ・史跡等を活用した屋外イベントを実施
- ・従来のチラシ、パンフレットにもキャッチコピーやイラストを多数しようするなど工夫をこらした上、ホームページやフェイスブックで遺跡や出土品に加え、イベント等の情報発信や調査研究経緯の紹介を実施した。

ウ 成果及び効果

- ・センターで連携講座、企画展を開催することでセンターへの来館者増につながった。
- ・夏休み・冬休みイベントで子ども達に来館しやすい流れができた。
- ・山城ブーム、ウォーキングブーム等も相俟って、史跡等や調査研究テーマへの関心が高まった。
- ・アンケート回答では新規の取り組みは好評で、取り組み継続や土日の臨時開館を希望する声が多くあった。
- ・従来のチラシも有効であり、フェイスブックの”いいね”数も1000を超えるほど好調で、HPの閲覧も多く、効果的な情報発信ができています。

エ 課題

- ・一般来館者は増加しているが、学校による施設見学や学校に出かける出前授業が減少している。
- ・「古代まつり」などで東部エリアを中心にイベント参加者(来館者)は増えているが、中西部への普及が不十分となっている。アンケートにも中部でのイベント開催を望む声がある。
- ・埋蔵文化財センターの利用者が増えてきているが、情報提示装置が老朽化し、情報の更新や効果的な情報発信ができていない。
- ・知事部局へ移管した場合の学校との連携が取りにくくなることが懸念されるため、当センター所蔵品を使った教材、授業案等を作り、学校へPRをしている。

(単位:千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
埋蔵文化財専門職員研修事業	383		383	
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の発掘調査を迅速かつ適正に進めるため、市町村教育委員会の発掘調査の実施に必要な専門知識と技能の習得及びその向上を図る。 ・県内の重要遺跡の調査研究や埋蔵文化財調査の新技术の研究を実施し、その成果を研修、普及啓発事業に生かす。 				
(イ) 事業の実施状況				
○研修事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市山ノ下遺跡発掘調査現場で「埋蔵文化財基礎研修」開催 ・埋蔵文化財センターで「遺物調査検討課程」開催 (35頁「23埋蔵文化財関係職員等の研修」参照) 				
○調査研究事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・古代山陰道の調査研究を実施した。 ・出土木製品の新しい保存処理技術の研究を実施した。 ・デジタルカメラを用いた文化財の三次元計測技術の研究を実施した。 				
イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> ・近年実施していなかった「埋蔵文化財基礎研修」を再開した。 ・「古代山陰道の調査研究」は、青谷上寺地遺跡や青谷横木遺跡の古代山陰道跡の発掘調査成果を踏まえ、青谷平野西側周辺の丘陵部を踏査した。 ・「出土木製品の保存処理技術」と「文化財の三次元計測技術」は、平成31年度からの活用に向け本格的な研究を行った。 				
ウ 成果及び効果				
○研修事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・「埋蔵文化財基礎研修」は、市町村における専門職以外の埋蔵文化財保護行政の経験が浅い職員が多くなっていたことから再開した。参加者に発掘調査の基本的な方法について研修を行い、参加者からは「調査の流れが分かった」、「実際に現地で実習できてよかった」などと好評で担当者レベルでの情報交換や交流も図ることができた。 				
○調査研究事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・「古代山陰道の調査研究」では、青谷平野の西側丘陵部で古代山陰道と思われる痕跡を確認することができた。(ウォーキングイベントにより現場説明を行い、好評だった。) ・「出土木製品の保存処理技術の研究」では、トレハロース含浸法の技術を用いて、材質などが異なる木製品の保存処理を試行し、これまでの方法よりも早く保存処理する事ができることを確認でき、鳥取西道路発掘調査時出土の大量木製品の処理に有効であることを実証した。 ・「文化財の三次元計測技術の研究」では、発掘調査現場や出土遺物について三次元計測で作成した三次元画像がホームページや説明会等の情報発信の有効なツールであることが分かった。また、以前は手測りで行っていた発掘調査の測量を写真による三次元計測を行うことで現場の作業のスピードアップに有効であることも確認した。 				

エ 課題

- ・鳥取西道路建設に係る受託発掘調査終了を受けて、今後は情報発信や実地でのイベントなどを通して地元での保護・活用の機運を醸成することで地域振興や観光振興に資することが求められる。
調査研究事業では、地域振興や観光振興の素材となる史跡等の掘り起こし、磨き上げのための基礎的な調査研究や現地踏査に加え、測量・発掘調査等を行っていくことが必要である。
- ・青谷上寺地遺跡、妻木晩田遺跡は弥生時代を代表する遺跡であるが、他の遺跡や時代区分でも史跡指定や重文指定等の価値がありながら、調査が進展していないものもあるため、調査研究を進める必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
受託発掘調査事業(山陰道「鳥取西道路」)	126,531	2,735	9,128	114,668
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・「鳥取西道路」改築事業に伴う埋蔵文化財の出土品整理作業・発掘調査報告書作成業務
- ・「発掘！因幡の遺跡展」(鳥取西道路展)の開催
- ・「鳥取西道路」改築事業に伴う調査で出土した木製品の台帳作成、保存処理計画の検討
(29頁「(2)出土品整理作業・報告書作成作業」参照)

(イ) 事業の実施状況

事業名等	実施状況
出土品整理作業・発掘調査報告書作成	「下坂本清合遺跡」の発掘調査報告書を作成。「乙亥正屋敷廻遺跡」の出土品整理作業を実施し、発掘調査報告書は平成30年度末に刊行予定。 (30頁「ウ 図書の刊行」参照)
企画展「発掘！因幡の遺跡展」	2月23日から3月17日まで県立博物館で実施。
木製品の台帳作成・保存処理計画の検討	木製品の台帳作成は全体の3～4割程度終了予定。

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

事業名等	改善点
出土品整理作業・発掘調査報告書作成	出土品の数が膨大なことに加え、整理作業期間も極めてタイトなため、業務の迅速化、効率化を図る観点から業者への再委託を積極的に行った。 (例)実測・トレース・編集図作成業務、自然化学分析業務
企画展「発掘！因幡の遺跡展」	発掘調査が終了して2年経たないうちに展示を開催することによって、県民等へ速やかな情報提供を行えた。また、発掘調査に関わった企業からの協賛金を募った。さらに事前の新聞、ホームページ、フェイスブックでの広報を積極的に行った。
木製品の台帳作成・保存処理計画の検討	大量の木製品が出土しており、台帳作成等は膨大な作業量であるため、他の担当にも職員をローテーションで参加させたり整理作業員を増員するなどして、平成31年度からの保存処理のスタートに向けての作業の進捗を図った。
その他	出土品の整理作業において新たに分かった知見をフェイスブックやホームページで月1～2回程度情報発信し、県民等への情報提供を積極的に行った。遺跡展ではフェイスブックや新聞で何度も事前の情報発信を行った。

ウ 成果及び効果

事業名等	改善点
出土品整理作業・発掘調査報告書作成	再委託を行ったことで直営による県費の支出を抑えながら、「乙亥正屋敷廻遺跡」の発掘調査報告書の年度内刊行が可能となった。
企画展「発掘！因幡の遺跡展」	鳥取東部の大規模な発掘調査の企画展示ということで人の集まりもよく、協賛金も予想以上の額が集まり、県費の支出を抑えることができた。

木製品の台帳作成・保存処理計画の検討	木製品の台帳作成を当初予想より多く進めることができた。なお台帳作成の過程で報告書に掲載されていない優良な木製品を発見したり、松原田中遺跡出土の地中梁が国内最長級である等の新たな知見を得て、テレビや新聞等で県内外に広く情報発信することができた。
その他	展示会や講演会の案内だけでなく、展示品や講演に関わる遺物の詳細な情報も事前に何回かに分けて発信することで関心を高め、参加者数を増やしている。

エ 課題

出土品整理作業・発掘調査報告書作成	整理作業の委託に当たっては、制限付き一般競争入札となったため、高度な専門性を必要とする業務にも関わらず、経験の不足している事業者を制限できなかった。結果的には一部の受託業者において、再三の指示等にもかかわらず工程延長や打ち切り完了（出来高部分で業務打ち切り、契約解除）とせざるを得なくなるなど、報告書編集に大きな支障が生じたことから、今後は指名競争入札の検討が必要である。
木製品の台帳作成・保存処理計画の検討	台帳作成と併行して、出土した膨大な量の木製品の整理業務（保存処理、実測・トレース、記録写真撮影等）を行うことで、埋蔵文化財の調査研究を進め、その成果を広く県民に還元し、教育のみならず地域振興や観光の素材等としても幅広く活用していく必要がある。
その他	鳥取西道路を含め四半世紀にわたった「山陰道」建設事業に係る受託発掘事業は、全体として県内最大規模のものとなったため、その総括を行い遺跡や出土品の性格や意義を明らかにし、鳥取県の歴史を再整理していく必要がある。



「発掘！ 因幡の遺跡展」オープニング



展示解説状況



美和分室水槽



木製品計測状況

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
史跡青谷上寺地遺跡整備事業	7,916	3,958	2,533	1,425
鳥取元気プロジェクト	4柱(人、産業、まち、改革と絆)、70プロジェクト			
元気づくり総合戦略	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ ～鳥取+rhythm～ (3)まちづくり (2)アート・文化による地域づくり			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

保存状態の良い多種多様な遺物が出土することから「地下の弥生博物館」と称される国史跡青谷上寺地遺跡ならでの史跡整備を行うため、整備活用基本計画の詳細化を行い、整備の基本設計を進める。

〔今後の予定〕

H31年度から実施設計、整備工事(事業費の1/2は国庫補助)に着手

(イ) 事業の実施状況

- ・青谷上寺地遺跡整備活用基本計画及び基本設計業務
- ・とっとり弥生の王国調査整備活用委員会の開催

開催次	開催日	開催場所	議事
第5回 整備活用部会	平成30年7月14日	鳥取県立むきばんだ史跡公園	青谷上寺地遺跡の整備活用基本計画の詳細化について(グランドデザイン案)他
第6回 整備活用部会	平成30年10月11日	鳥取県立米子産業体育館	青谷上寺地遺跡の整備活用基本計画の詳細化について(エントランス案)他
第7回 整備活用部会	平成31年3月18日 開催予定	鳥取県埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡の整備活用基本計画の詳細化について(活用事業)他

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・埋蔵文化財センターとむきばんだ史跡公園で分担して行っている委員会の部会運営の円滑化を図るため、両所が隔年で事務を一元的に担当する仕組みに改善した。

ウ 成果及び効果

- ・青谷上寺地遺跡の特性を活かした史跡整備・活用に向けての検討を深め、グランドデザイン案、エントランス案を策定した。

(次ページ下部史跡青谷上寺地遺跡史跡整備グランドデザイン案参照)

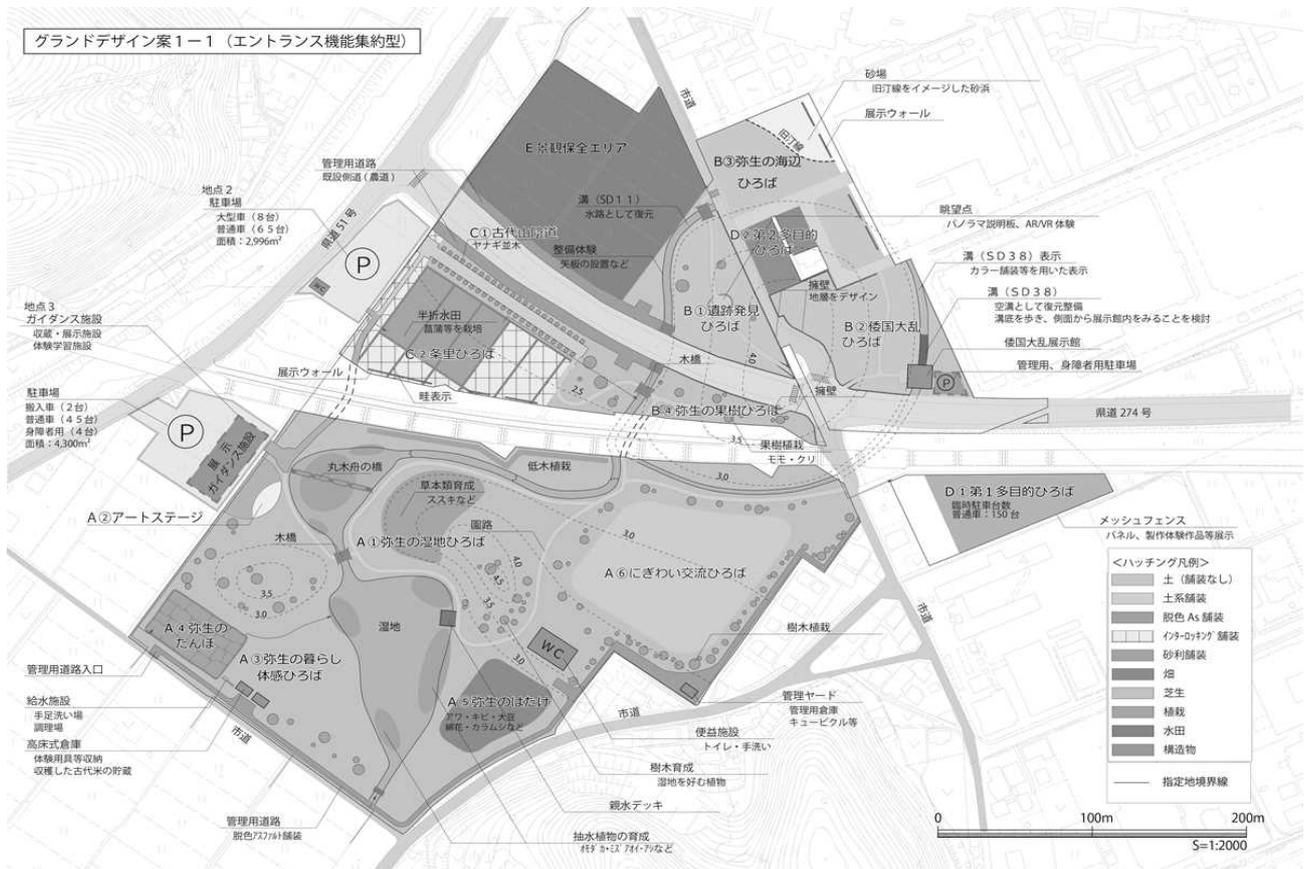
エ 課題

- 史跡を今後さらに地域振興に寄与するものとするためには、地元である青谷地域の方々に史跡の利活用に積極的に参画してもらうことが重要であり、そのための仕組み作りを検討するとともに、ボランティアガイド育成等の取組みを図る鳥取市との連携をさらに深める必要がある。
- 来訪者にまた来たいと思ってもらえる史跡を目指すとともに、地元の方々に興味関心を持ち続けてもらうために、整備完成後も新たな調査研究成果の発信やより魅力的な活用事業の導入に柔軟に対応できる整備を考える必要がある。
- PFI手法の導入検討対象事業に挙がっているため、当初予定の平成31年度整備工事着手が遅延する。

OPFI手法が導入された場合、以下のような不安材料がある。

- ・とっとり弥生の王国調査整備活用委員会（史跡整備について調査審議する条例設置の附属機関）でこれまでに審議し、検討してきた基本計画、基本設計の内容がどこまで整備事業に反映されるのか。
- ・エントランス施設等の建設予定地の公有地化が未着手の段階にあり、基本計画、基本設計で適地と判断された場所での施設建設が担保できるのか。
- ・ガイダンス施設などの建築物の基本設計が未策定であり、今後史跡の施設としての適切な仕様、設計が担保できるのか。
- ・整備工事に際して文化財保護法に基づく史跡の現状変更許可を得る必要があるが、施工主体となる民間機関が、監督官庁の文化庁の指示、指導のもと施工するスキームに対応することができるのか。
- ・整備工事に際して施工主体となる民間機関が、とっとり弥生の王国調査整備活用委員会からの意見に対応するスキームを担保するのか。
- ・今後の発掘調査など調査研究成果によっては整備手法を柔軟に更新する必要があり、基本計画、基本設計ではあえて不確定要素を残しているが、民間機関がどこまで整備事業に弾力的に対応できるのか。
- ・史跡公園が民間機関主導による運営になった場合、調査研究成果の発信や魅力的な活用事業の導入にどこまで対応できるのか。
- ・地元の方々が史跡公園の利活用に容易に参画できる環境が担保されるのか。

※ 史跡青谷上寺地遺跡史跡整備グラウンドデザイン案



(単位:千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
青谷上寺地遺跡発掘調査事業	48,990	19,972	288,995	23
鳥取元気プロジェクト	4柱(人、産業、まち、改革と絆)、70プロジェクト			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・国史跡青谷上寺地遺跡を整備・活用していくために必要なデータを得る。
- ・遺跡の詳細な内容を確認し、「交易拠点としての港湾集落」の構造や景観などの実態解明を図る。

<参考>

○青谷上寺地遺跡の発掘調査経過

区分	年度	主な調査目的
	H10～H13年度	道路建設に先立つ事前の発掘調査(第1次発掘調査)
第一期調査	H13～H17年度	遺跡の範囲確認(第2次～第7次発掘調査)
第二期調査	H18～H20年度	遺跡の成り立ちと中心域縁辺の様相の解明、周辺関連遺跡の確認(第8次～第10次発掘調査)
第三期調査	H21年度～H26年度	弥生時代後期後葉の集落全体像の解明(第11次～第16次発掘調査)
	H27年度	整備計画の変更(分割整備から一括整備へ)に伴う発掘調査計画の見直し作業(整備計画との連携を保てる発掘調査計画の策定)
	H28年度～	[整備基本設計着手] 弥生時代後期後葉の集落の実態解明(第17次発掘調査～)

○青谷上寺地遺跡の範囲

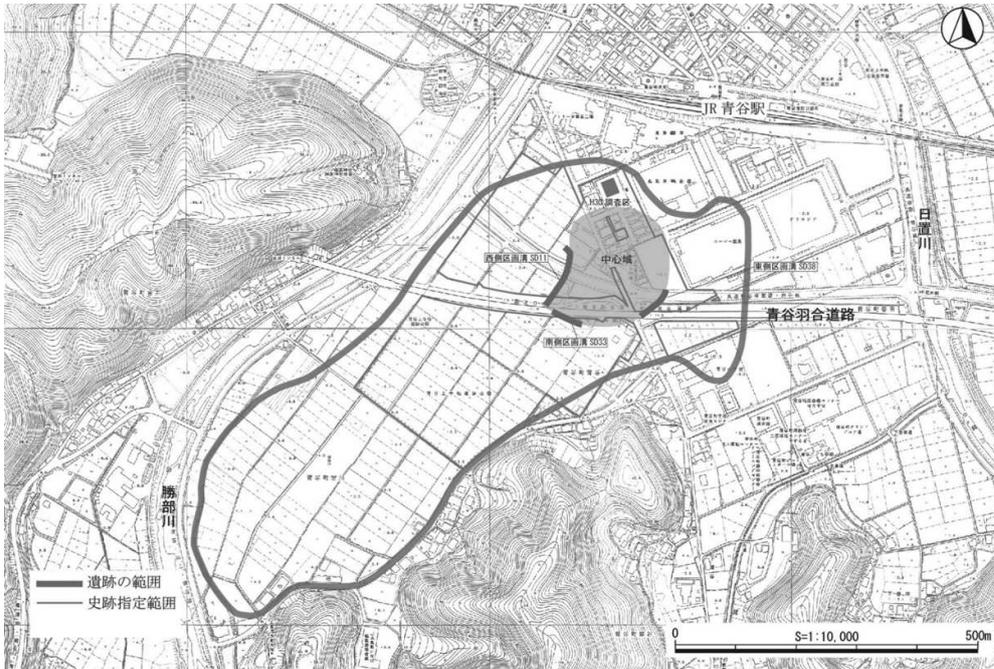
遺跡面積	約33ha
史跡指定面積	約14ha
※史跡指定追加指定	平成20年3月28日 平成22年8月5日、同23年9月21日、同25年10月17日、同26年10月6日
調査済面積	約1.9ヘクタール(遺跡全体の約13.6%)

(イ) 事業の実施状況

○発掘調査

弥生時代後期(2～3世紀)の集落像を解明し、史跡整備に反映させるための発掘調査を実施した。
(29頁「21 埋蔵文化財の調査と研究」を参照)

調査の名称	青谷上寺地遺跡第18次発掘調査
調査の位置付け	史跡等内容確認調査(史跡としての整備活用に必要なデータを収集するための発掘調査)
調査の目的	遺跡中心域(人々の活動の舞台となった微高地)北側における集落様相の解明(2カ年計画の1年目) (1)古墳時代中期から古代にかけての土地利用の様相を明らかにする (2)整備予備調査(ポーリング調査)で確認した包含層を調査し、遺跡の最盛期の生活に関する情報を得る (3)中心域の北側に推定される海岸線の確認
調査面積	177m ² (13.3×13.3m)
調査期間	平成30年9月18日～12月7日
調査公開期間	平成30年9月25日～11月30日(見学者数113名)
現地説明会	平成30年11月17日開催(参加者数110名)



青谷上寺地遺跡の範囲と第18次発掘調査地点

○埋蔵環境調査

良好に保たれている埋蔵環境を監視するために、地下水観測等を継続して実施した。

- ・水位観測
- ・水質調査 (pH、酸化還元電位、溶存酸素量)



保存処理した編物（筥）

○出土品保存処理

調査研究や活用が可能な状態を後世に引継ぐため、木製品の恒久的な保存処理を業者委託により行った。(編物1点：筥(うけ)ーウナギ等を捕るための漁具)

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

○発掘調査

国史跡である青谷上寺地遺跡の発掘調査の効率化と調査精度の向上を図ってよりよい成果を得るため、発掘調査支援業務委託内容を見直し、これまでの発掘作業員の調達及びその労務管理、発掘現場の安全管理、その他調査補助(図化作業等)に加え、簡単な遺物取上げ作業についても調査支援業務のうちに加えた。

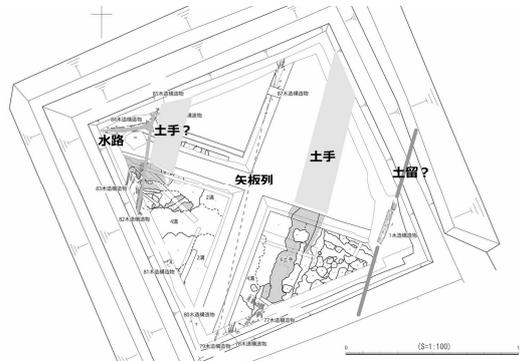
ウ 成果及び効果

○発掘調査

弥生時代終末期(3世紀前半頃)には、遺跡中心域北側に広がっていたと考えられる内海(古青谷湾)に向かって、当時の港湾施設の可能性がある杭や板によって補強された土手状遺構が築かれていることを確認した。



第18次発掘調査区



第18次発掘調査の成果

○埋蔵環境調査

地下水の状況が良好な状態で保たれていることを確認した。

○出土品保存処理

処理を行った資料を今後の調査研究や展示に活用することが可能となった。

エ 課 題

○発掘調査

- ・第18次発掘調査2カ年目となる来年度は、弥生時代終末期の遺構の精査及びその下層の弥生時代後期の状況確認を行うこととなるが、上層の遺構の保存を図りながらどこまで下層の確認が果たせるかが課題である。
- ・現在の発掘調査計画で方針が具体化しているのは第18次発掘調査までであり、史跡整備をにらみながら今後の調査計画を検討する必要がある。

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成30年 12月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料	電柱用地使用料	4	18,000	18,000	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則 鳥取県行政財産 使用料条例	年度末件数見込:165 予定調定金額:525,195
		駐車場使用料	120	381,960	362,862	0	19,098		
	計(節)		124	399,960	380,862	0	19,098		
目計			124	399,960	380,862	0	19,098		
合計			124	399,960	380,862	0	19,098		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

(平成30年12月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
物品売払 収入	物品売払収入		62	350,850	342,610	0	8,240	県刊行物作成要領	書籍販売代金
		計(節)		62	350,850	342,610	0		
目計			62	350,850	342,610	0	8,240		
合計			62	350,850	342,610	0	8,240		

(5) 諸収入

(平成30年12月 31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
発掘調査受託事業収入	発掘調査受託事業収入							発掘調査委託契約書	山陰道建設に係る国交省からの受託分
目計			0	0	0	0	0		
項計			0	0	0	0	0		
雑入	雑入		26	1,063,000	1,063,000	0	0		「発掘！因幡の遺跡」(鳥取西道路速報展)への協賛金 ※協賛金事業所数26社
			2	1,620	1,620	0	0	行政財産許可証	行政財産使用に係る光熱水費等負担分
			9	5,390	3,554	0	1,836		刊行物送料
	計(節)	37	1,070,010	1,068,174	0	1,836			
目計			37	1,070,010	1,068,174	0	1,836		
違約金	違約金		1	63,560	63,560	0	0	委託業務契約書	委託契約不履行に係る遅延損害金
	計(節)	1	63,560	63,560	0	0			
目計			1	63,560	63,560	0	0		
項計			38	1,133,570	1,131,734	0	1,836		
合計			38	1,133,570	1,131,734	0	1,836		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成30年12月31日)

収入科目(節)	収入 済 額 (円)	件 数 (件)	備 考
物品売払収入	114,810	72	
雑入	3,560	6	
合 計	118,370	78	

:@0

イ つり銭の状況

(平成30年12月31日)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	10,000
--------	---	----------	--------

9 収入未済額調べ

(平成 年 月 日現在)
(単位:円)

収入科目			過 年 度 分						現 年 度 分			収入未済額計 (A+B)	未収理由	
			前年度 以前からの 繰越額	左のうちの 収入 済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額 (A)	収入未済額の調定年度内訳			調定額	収入済額			収 入 未 済 額 (B)
目	節	細 節					27年度 以 前	28年度	29年度					
行政財産使用料	行政財産使用料		0	0	0	0	0	0	0	399,960	380,862	19,098	19,098	月末に支払をしたことによるもの
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	399,960	380,862	19,098	19,098	
													0	
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	399,960	380,862	19,098	19,098	
物品売払収入	物品売払収入		0	0	0	0	0	0	0	350,850	342,610	8,240	8,240	誤調定1件3,410円 販売委託先からの入金遅れ1件:4,830円
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	350,850	342,610	8,240	8,240	
													0	
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	350,850	342,610	8,240	8,240	
雑入	雑入		0	0	0	0	0	0	0	1,070,010	1,068,174	1,836	1,836	誤調定1件360円 月末に納付が行われたもの1件:1,476円
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	1,070,010	1,068,174	1,836	1,836	
													0	
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	1,070,010	1,068,174	1,836	1,836	
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	1,820,820	1,791,646	29,174	29,174	

10 未収金回収促進のための取組状況調べ

収入科目及び金額		目	節	細節 (又は種別)	収入未済額 (円)			
		行政財産使用料	行政財産使用料		19,098			
債権管理事務取扱要領の作成の有無				・作成済み (H 年 月作成 (改正)) (未作成の場合、その理由) これまで基本的に翌月の繰り越しは無かったため	未作成			
債権分類の実施 (債権者毎に分類を行っているか) (分類状況が分かる資料を添付すること。)				・実施済み (H 年 月実施) これまで基本的に翌月の繰り越しは無かったため	未実施			
区分	相手方	相手方の状況	実人員	督促状 発行	催 告	臨戸訪問	分納 件数	回収 委託
現 年 度 分	個人	—	人 6	人 0	・文書 0人 ・電話 0	人 0	人 0	人 0
過 年 度 分					・文書 ・電話 ・文書 ・電話			
(上記以外の取組)								
:(取組の効果)								

収入科目及び金額		目	節	細節 (又は種別)	収入未済額 (円)			
		物品売払収入	物品売払収入		8,240			
債権管理事務取扱要領の作成の有無				・作成済み (H 年 月作成 (改正)) (未作成の場合、その理由) 原則事前納付のため	未作成			
債権分類の実施 (債権者毎に分類を行っているか) (分類状況が分かる資料を添付すること。)				・実施済み (H 年 月実施) 原則事前納付のため	未実施			
区分	相手方	相手方の状況	実人員	督促状 発行	催 告	臨戸訪問	分納 件数	回収 委託
現 年 度 分	個人	—	人	人	・文書 0人 ・電話 0	人	人	人
過 年 度 分					・文書 ・電話 ・文書 ・電話			
(上記以外の取組)								
:(取組の効果)								

収入科目及び金額		目	節	細節 (又は種別)	収入未済額 (円)			
		雑入	雑入	電気代	1,836			
債権管理事務取扱要領の作成の有無				・作成済み (H 年 月作成 (改正)) (未作成の場合、その理由) これまで未収がなかったため	未作成			
債権分類の実施 (債権者毎に分類を行っているか) (分類状況が分かる資料を添付すること。)				・実施済み (H 年 月実施) 通常翌月までには納付されるため	未実施			
区分	相手方	相手方の状況	実人員	督促状 発行	催 告	臨戸訪問	分納 件数	回収 委託
現 年 度 分	団体	—	人 1	人 0	・文書 0人 ・電話 0	人 0	人 0	人 0
過 年 度 分					・文書 ・電話 ・文書 ・電話			
(上記以外の取組)								
:(取組の効果)								

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金

(平成30年12月31日現在)

(単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む)	備考
埋蔵文化財センター費 新規以外のもの						1,178,604		
目 計						1,178,604		
合 計						1,178,604		

(2)補助金

該当なし

(3)交付金

該当なし

(4)委託料

(平成30年12月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)								
					(契約年月日) 契約額	契約期間	契約形態					
社会教育総務費												
上記の外、契約額が250 万円未満のもの											609,120	
目 計											609,120	
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡整備活 用基本計画及び基本設 計業務委託	株式会社文化財保存 計画協会 代表取締役 矢野 和之	22,788,000	(H28.9.9) 21,610,800	H28.9.9 ~ H31.3.15	H28.9.6 (免除)					文書ID 16-00081314 16-00137156 プロポーザル
					(H29.1.16) 23,072,040	H28.9.9 ~ H31.3.15	随					
文化財保護費	国補	史跡青谷上寺地遺跡第 18次発掘調査支援業 務	株式会社アコード 鳥取営業所長 稲垣 耕作	17,888,040	(H30.7.6) 16,740,000	H30.7.6 ~ H31.3.31	H30.6.29 (免除)					文書ID 18-00100888 18-00253852
					(H30.12.18) 20,142,000	H30.7.6 ~ H31.3.31	指					
上記の外、契約額が250 万円未満のもの											2,235,934	
目 計											2,235,934	
埋蔵文化財センター費	国補	【西道路】乙亥正屋敷廻 遺跡出土木製品(非保 存処理遺物2)実測、ト レース及び編集図作成 業務	株式会社イビソク 鳥取営業所所長 村上 真仁	19,511,928	(H30.4.23) 18,900,000	H30.4.23 ~ H30.9.28	H30.4.16 (免)	H30.9.28				文書ID 18-00021935
					()		一般競争	H30.9.28	精	H30.10.19	18,900,000	
埋蔵文化財センター費	国補	【西道路】乙亥正屋敷廻 遺跡出土木製品(非保 存処理遺物1)実測、ト レース及び編集図作成 業務	株式会社アーキジオ 代表取締役社長 津嶋 春秋	19,761,732	(H30.4.23) 16,524,000	H30.4.23 ~ H30.9.21	H30.4.16 (免)	H30.11.12				文書ID 18-00021848 18-00166317
					(H30.9.14) 16,524,000	H30.4.23 ~ H30.10.19	一般競争	H30.11.12	精	H30.12.18	16,524,000	

埋蔵文化財センター費	国補	乙亥正屋敷廻遺跡出土遺物(土器、石器、木製品)トレース及び編集図作成業務	株式会社エイ・テック 代表取締役 谷口 謙一郎	11,212,560	(H30.6.28) 8,640,000	H30.6.28 ~ H30.8.31	H30.6.20 (免)	H30.8.31	精	H30.9.28	8,640,000	文書ID 18-00089866
					()		一般競争	H30.8.31				
埋蔵文化財センター費	国補	【西道路】乙亥正屋敷廻遺跡出土木製品(真空凍結乾燥保存処理済)実測、トレース及び編集図作成業務	安西工業株式会社 鳥取支店 支店長 宮脇 賢吾	17,131,257	(H30.4.23) 16,794,000	H30.4.23 ~ H30.9.18	H30.4.16 (免)	H30.12.18	精			文書ID 18-00021724 18-00276007
					(H30.9.14) 7,498,716	H30.4.23 ~ H30.10.31	一般競争	H30.12.18				
埋蔵文化財センター費	国補	【西道路】乙亥正屋敷廻遺跡出土土器実測図、トレース及び編集図作成業務	株式会社アルカ 代表取締役 角張 憲子	22,462,920	(H30.4.23) 6,458,400	H30.4.23 ~ H30.9.14	H30.4.16 (免)	H30.9.14	精	H30.9.21	6,458,400	文書ID 18-00021271
					()		一般競争	H30.9.14				
埋蔵文化財センター費	国補	【西道路】乙亥正屋敷廻遺跡出土試料自然科学分析業務	バリノ・サーヴェイ株式会社 代表取締役 岩瀬 建	4,523,040	(H30.4.23) 4,104,000	H30.4.23 ~ H30.9.28	H30.4.16 (免)	H30.9.28	精	H30.10.19	4,723,164	文書ID 18-00021213 18-00117278
					(H30.8.3) 4,723,164	H30.4.23 ~ H30.9.28	一般競争	H30.9.28				
埋蔵文化財センター費	国補	埋蔵文化財センター積善分館仮設整理作業棟解体業務	大和リース株式会社 山陰営業所 統括所長 後藤 健治	3,240,000	(H30.5.10) 3,240,000	H30.5.10 ~ H30.5.31	(免)	H30.5.17	精	H30.5.30	3,240,000	文書ID 18-00043121
					()		随	H30.5.21				
											4,105,701	
目 計											62,591,265	
合 計											65,436,319	

14 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(㎡)	価額(円)	増減別	異動日	面積(㎡)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(㎡)	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加	H				H	5,720.49	70,500,864	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	5,722.00	-	増加	H				H	5,722.00	-	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	9,407.14	-	増加	H				H	9,407.14	-	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター美和分室	鳥取市源太90	0.00	-	増加	H30.4.1	7,900.00		所管替	H	7,900.00	-	
					減少	H				H			
計			20,849.63	70,500,864			7,900.00	0			28,749.63	70,500,864	
合計			20,849.63	70,500,864			7,900.00	0			28,749.63	70,500,864	

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(㎡)	価額(円)	増減別	異動日	面積(㎡)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(㎡)	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	1,419.26	-	増加	H				H	1,419.26	-	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	1,895.00	6,600,000	増加	H				H	1,895.00	6,600,000	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター青谷調査室	鳥取市青谷町667番地	39.83	5,993,400	増加	H				H	39.83	5,993,400	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	2,099.19	-	増加	H				H	2,099.19	-	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター美和分室	鳥取市源太90	0.00	-	増加	H30.4.1	1,806.68		所管替	H	1,806.68	20,547,057	
					減少	H				H			
計			5,453.28	12,593,400			1,806.68	0			7,259.96	33,140,457	
合計			5,453.28	12,593,400			1,806.68	0			7,259.96	33,140,457	

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受入額	払出額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	189,667	186,462	275,108	101,021	
収入印紙				0	
収入証紙				0	
タクシークーポン券				0	
鉄道プリペイドカード				0	
合 計	189,667	186,462	275,108	101,021	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料		
行政財産	電力供給 事業	鳥取市国府町 宮下1260番地	電柱4本 支柱2本 支線2条	H28.3.28	H13.3.19	H28.4.1 ~ H33.3.31	月額・年額 12,000	12,000	鳥取市新品治1番地6号 中国電力(株) 鳥取営業所長	15-00177963
	電力供給 事業	鳥取市国府町 宮下1262番地	電柱1本 支線1条	H30.2.5	H20.4.1	H30.4.1 ~ H35.3.31	月額・年額 3,000	3,000	鳥取市新品治1番地6号 中国電力(株) 鳥取営業所長	17-00243733
	電気通信設 備設置	鳥取市国府町 宮下1262番地	本柱1本	H30.2.6	H20.4.1	H30.4.1 ~ H35.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店長	17-00251731
	電力供給 事業	鳥取市商栄町 390番地	支線1条	H27.3.2	H17.3.14	H27.4.1 ~ H32.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市新品治1番地6号 中国電力(株) 鳥取営業所長	14-00161392
計							18,000			
合計							18,000			

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料		
行政財産	鳥取県東部ろ うあ協会の活 動拠点	鳥取市国府町 宮下1262番地	40.00㎡	H30.3.3	H26.10.29	H30.4.1 ~ H31.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市気高町浜村783-1095 鳥取県東部ろうあ協会会長	17-00285070
計							0	0		
合計							0	0		

(2) 物品

(平成30年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所名 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
青谷上寺地遺跡 出土品レプリカ	34点		H30.4.1 ～ H31.3.31	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館	鳥取県立博物館歴史・民俗 展示室他	鳥取県立博物館において 常設展示するため。	
青谷上寺地遺跡 出土品レプリカ	9点		H30.9.1 ～ H31.8.31	月額・年額	0	鳥取市尚徳町116 鳥取市経済観光部鳥取 砂丘・ジオパーク推進 課	あおや郷土館ロビー(鳥取市 青谷町青谷2990-4)	山陰海岸ジオパーク常設 展示ブース(青谷上寺地 遺跡コーナー)において展 示するため	
青谷上寺地遺跡 出土品レプリカ	2点		H30.11.6 ～ H30.11.7	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館	鳥取県産業技術センター機 械素材研究所(米子市日下1 247)	鳥取県立博物館の企画展 の展示物として弥生人の 脳のレプリカを作製するた め	
土器パズル	1点	青谷上寺地遺 跡器台	H30.7.27 ～ H30.8.10	月額・年額	0	鳥取市富安2丁目138- 4 鳥取市教育委員会	鳥取市立中央図書館	来館者に土器パズルを 体験してもらうため	
土器パズル	1点	桂見遺跡壺	H30.10.11 ～ H31.1.31	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館	鳥取県立博物館	来館者に土器パズルを 体験してもらうため	
				月額・年額					
				月額・年額					
合計					0				

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は 面積	契約の状況			借受先	備考	
					契約書の 有無	借受期間	借料(円)			住所名
							単価	本年度の借料		
建物	RC3階	遺物収蔵庫	鳥取市吉岡温泉町789-1	902㎡	有	H30.4.1 ～ H35.3.31	月額・年額	免除	鳥取市尚徳町116 鳥取市 鳥取市長 深澤義彦	
							月額・年額			
合計								0		

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積	貸付(使用)料(月額)
		(㎡)	(円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地(センター本所)	12.5	3,183

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		うち減免	うち減免	うち減免	うち減免						
	人	人	人	人	人	人	人	円			
4月	5	0		8	0	13	0	41,379			
5月	13	0	0	0	0	13	0	41,379			
6月	13	0	0	0	0	13	0	41,379			
7月	13	0	0	0	0	13	0	41,379			
8月	13	0	0	0	0	13	0	41,379			
9月	13	0	0	0	0	13	0	41,379			
10月	13	0	0	1	0	14	0	44,562			
11月	14	0	0	0	0	14	0	44,562			
12月	14	0	0	0	0	14	0	44,562			
1月		0	0	0	0	0	0	0			
2月		0	0	0	0	0	0	0			
3月		0	0	0	0	0	0	0			
合計								381,960		円	円
										362,862	19,098

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

(平成 30年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格 円	不用決定 年月日	不用とす る理由	処 分				備 考
							売払棄 却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払額・ 処分費用 円	
電気掃除機 松下電器産業(株)MC -G410	1	H10.5.25	6	60,375	H30.12.6	故障によ る使用不 可	棄却	修理不能のため	H29.3.6	64,800	その他の廃 棄物と共に 処分
平行定規セット ライオンMF2-105	1	S57.6.14	15	51,600	H30.12.6	故障によ る使用不 可	棄却	修理不能のため	H30.2.21	64,800	その他の廃 棄物と共に 処分
平行定規セット ライオンMF2-105	1	S57.6.14	15	51,600	H30.12.6	故障によ る使用不 可	棄却	修理不能のため	H30.2.21	上記に含む	その他の廃 棄物と共に 処分
テレビ ナショナルTH-20-B 28VR テレビワゴン	1	S57.6.22	5	143,500	H30.12.6	故障によ る使用不 可	棄却	修理不能のため	H29.3.27	2,916	
テレビ ナショナルTH-20-B 28VR テレビワゴン	1	S57.6.22	5	143,500	H30.12.6	故障によ る使用不 可	棄却	修理不能のため	H29.3.27	2,916	
合 計	5			450,575						135,432	

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成30年 8月30日 ～ 平成30年 11月20日	・ 有 ○ ・ 無		

2 1 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積	内容・成果等
		調査期間	
青谷上寺地遺跡 (鳥取市青谷町内)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の構造や景観などの実態解明を図る。 ・史跡整備のための情報収集を図る。 	177㎡ 4月1日 ～12月7日	集落内において活動の舞台となった微高地(中心域)の北側に広がっていた内海(古青谷湾)の汀線付近を2年計画で発掘調査する予定であり、その1年目にあたる。土手や溝の護岸の構築などの土木工事が3世紀頃に繰り返し行われていたことが明らかとなり、弥生時代にもものづくりと交易の拠点であったと評価される青谷上寺地遺跡の解明にとって重要な成果を得ることができた。

(2) 出土品整理作業・報告書作成作業

遺跡名	調査目的	作業内容
史跡青谷上寺地遺跡 (鳥取市青谷町)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の構造や景観などの実態解明を図る。 ・史跡整備のための情報収集を図る。 	出土した遺物の図化、写真撮影等の整理作業及び報告書の版下原稿作成作業を行った。併せて試料の年代測定等の自然科学分析委託を行った。報告書は次年度刊行予定である。
乙亥正屋敷廻遺跡 (鳥取市鹿野町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	出土品の整理作業を完了して、報告書を平成31年3月に刊行予定。作業の迅速化を図るため、実測、トレースの一部を外部委託で行った。併せて年代測定等の自然科学分析や、脆弱な木製品の保存処理委託を行った。
下坂本清合遺跡 (鳥取市気高町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	昨年度不落札となったため、今年度報告書を刊行した。
秋里遺跡(松下地区) (鳥取市江津)	県立中央病院建替に伴う遺跡の記録保存	昨年度不落札となったため、今年度報告書を刊行した。

(3) 出土品の調査研究

○青谷上寺地遺跡出土品の調査研究

- ・土器（貝塚出土の土器）、木器（祭祀具、食事具、武具等）について再整理を行った。
- ・人骨について、国立科学博物館及び国立歴史民俗博物館との共同研究により、DNA分析を行った。
- ・漆塗り土器について、明治大学との共同研究により、科学的な分析を行った。
- ・炭化した米について、弘前大学及び橿原考古学研究所との共同研究により、科学的な分析を行った。

○鳥取西道路関連遺跡出土木製品の調査研究

鳥取西道路関連で出土した木製品（コンテナ約5000箱分）の再整理を行った。現在は、木製品の状態確認作業を行っている。またその整理の中で、松原田中遺跡出土の地中梁が2本揃った状態で国内最長のものであることが判明し、テレビ、新聞等で大きく報道された。

2.2 埋蔵文化財保護思想の普及状況

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂

市町村単位で遺跡地図の更新（年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録）を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布。

イ 「とっとり文化財紀行」（年3回、夏号、秋冬号、春号各13,000部程度）の発行

県内外からの観光客に県内の考古学に関する最新の情報を提供するためのリーフレットを夏号、秋冬号及び春号の3回発行し、県内の文化観光施設、旅館組合及び道の駅等に配布。

ウ 図書の刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
青谷上寺地遺跡調査研究年報2017	青谷上寺地遺跡に関連した調査研究の記録、成果を収録。 県内外の調査研究機関、県内図書館などに配布。	400部	0部	H31.3月 刊行予定
鳥取県立中央病院の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 秋里遺跡（松下地区）	秋里遺跡（松下地区）の発掘調査記録、成果を収録。 県内外の調査研究機関、県内図書館などに配布。	283部	0部	H30.10月 刊行
一般国道9号（鳥取西道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XXVI 下坂本清合遺跡発掘調査報告書（1・2分冊）	下坂本清合遺跡の発掘調査記録、成果を収録。 県内外の調査研究機関、県内図書館などに配布。	283部	0部	H30.10月 刊行

一般国道9号（鳥取西道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XXVII 乙亥正屋敷廻遺跡発掘調査報告書（1～5分冊）	乙亥正屋敷廻遺跡の発掘調査記録、成果を収録。 県内外の調査研究機関、県内図書館などに配布。	283部	0部	H31.3月刊行予定
---	--	------	----	------------

エ フェイスブック、ホームページでの遺跡情報発信
遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。

(2) 普及講演等の開催

ア 鳥取県の考古学情報の発信「古代歴史への誘い」事業（出前講演）の実施

文化財主事が県内外に出掛け、鳥取県の優れた埋蔵文化財に関する講演（県内18回、県外4回で 延べ22回）を行い、鳥取県を全国にアピールした。

県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
鳥取市	火おこし体験	30名
鳥取市	古代・中世の食事の話	15名
八頭町	火おこし体験	60名
米子市	会下・郡家遺跡からみた弥生集落	20名
琴浦町	庭園史の概説	15名
琴浦町	因幡・伯耆の役所と古代寺院	30名
鳥取市	家具道具室内史学会研修での現地説明	25名
米子市	鳥取県の埴輪	23名
倉吉市	火おこし体験	15名
日野町	根雨のまちなみと建造物について	30名
鳥取市	散岐ウォーキング	70名
鳥取市	鹿野城主亀井茲矩と西いなばのお城	51名
鳥取市	幕末の海防と鳥取藩台場 ～全国的視野から賀露台場へのアプローチ～	65名
鳥取市	第2回鹿野の魅力再発見	15名
琴浦町	土の中からの音色	12名
まなびタウンとうはく	因幡・伯耆の古城探訪－東伯耆を中心に－	7名
鳥取市勝部地区公民館	青谷上寺地遺跡と史跡整備	50名
松保地区公民館	郷土の歴史発見	50名

県外出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
広島県	史跡青谷上寺地遺跡第17次発掘調査について	17名
岡山県	青谷上寺地遺跡出土大阪湾型銅弋について	29名
岡山県	青谷横木遺跡出土の女子群像板絵について	20名
東京都	鳥取県内の玉作	77名

イ とっとり弥生の王国青谷かみじち遺跡土曜講座の開催

主に地元の方を対象に、最新の調査研究成果を踏まえながら青谷上寺地遺跡の持つ魅力を職員が語る講座を、鳥取市青谷町総合支所多目的ホール等を会場として行った。

回数	開催日	内容	参加人数
第1回	5月26日	野外講座「ぶらっと青谷れきし学 Part2」	31人
第2回	7月21日	報告会「青谷上寺地遺跡の整備活用について」	43人
第3回	9月29日	特別講演「近畿型銅戈と青谷上寺地遺跡」	46人
第4回	11月24日	トークセッション 「海辺の村を読み解く～青谷上寺地遺跡と秋里遺跡～」	45人
第5回	1月19日	平成30年度発掘調査成果「第18次調査の最新速報」	45人

ウ 発掘調査現場の公開

遺跡名	調査（公開）期間	人数
青谷上寺地遺跡	9月25日～11月30日	113人

エ 発掘調査現地説明会等の開催

遺跡名	日時	人数
青谷上寺地遺跡	11月17日（土）午後1時から	110人
松原田中遺跡出土地中梁	12月22日（土）午後1時から3時まで	20人

オ 連続講座「鳥取県の考古学」

回数	開催日	内容	参加人数
第1回	7月14日	「縄文人はどのように水場を利用していたか」	25人
第2回	8月18日	「海を越えて、山を越えて～古代鳥取の交流史～」	38人
第3回	9月15日	「弥生時代はこうして始まった」	31人
第4回	10月20日	「なぜ因幡に山陰最古の前方後円墳が造られたのか」	29人
第5回	11月10日	「古代人の残した文字資料が語るもの」	20人
第6回	12月15日	「古代人の祈り～木製祭祀具が語るもの～」	30人

カ シンポジウムの開催

(ア) 考古学フォーラムの開催

平成30年12月2日（日）午後1時からとりぎん文化会館第1会議室にて開催。

当センター職員の基調報告、工楽善通 大阪府立狭山池博物館長と藤村尚 鳥取大学名誉教授による講演の後、北澗弘康 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所長を交えてパネルディスカッションを行った。

142名の参加があり、「土木の専門家が加わっていたことがよかった」、「全体に分かりやすかった」等、好評を得た。

(イ) とっとり弥生の王国シンポジウムアフターイベント「因州和紙に弥生の美を染め上げよう」の開催

平成30年10月6日（土）午後1時から鳥取市青谷町のあおや和紙工房にて開催。青谷特産の和紙に、青谷上寺地遺跡出土木器の文様を「折染め技法」で再現する体験イベントを行い、家族連れなど13名が参加した。

(ウ) とっとり弥生の王国シンポジウムアフターイベント「美食！青谷の倭人飯」の開催

平成30年10月28日（日）午前10時から鳥取市青谷町の鳥取市立日置地区公民館にて日置地区の小学生を対象に開催。復元した弥生土器で米を炊き、青谷の郷土食「おやき」を作って試食する体験イベントを行い、14名の児童が参加した。

(エ) 青谷上寺地遺跡出土人骨DNA研究から何が見えるのかー分析中間成果報告ーの開催

平成30年11月17日（土）午前10時から鳥取市青谷町総合支所多目的ホールにて開催。篠田謙一 国立科学博物館副館長と当センターの濱田竜彦係長の2人によるトークセッションを行い、会場定員の150名の参加をみた。併せて同日より青谷上寺地遺跡展示館にてDNA分析を行っている人骨の展示を行い、好評を得ている。

(オ) 第3回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人の真実」ーDNA・年代・環境 先端研究からのアプローチーの開催平成31年3月2日（土）午後12時50分からとりぎん文化会館小ホールにて開催予定。篠田謙一 国立科学博物館副館長及び韓国・国立慶州文化財研究所の安昭炫特別研究員による記念講演ののち、国立歴史民俗博物館の藤尾慎一郎教授と当センターの濱田竜彦係長を交えてパネルディスカッションを行う予定。

(3) 普及イベントの開催

イベント名	開催日/会場	実施内容	参加者数
考古学で遊ぼう！学ぼう！	H30. 8. 17/県立図書館	夏休み自由研究の相談と出土品のペーパークラフトづくり体験を行った。	25人
埋蔵文化財センター古代まつり	H30. 8. 6 /埋蔵文化財センター	模擬発掘体験コーナーやパズル土器タイムトライアルコーナー、弥生の漁師になろう!!コーナーなどの体験型イベントを来場者のみなさまに体験していただき、考古学の楽しさに触れていただいた。	620人
夏休み自由研究をつくろう！	H30. 8. 11, 12, 18, 19 /埋蔵文化財センター	夏休み中、期間限定で土日開館し、自由研究相談コーナーを開設した。地域の文化財の自由研究活用を紹介することができた。また、同時に弥生のカゴづくり体験なども行った。	105人
古代山陰道ウォーク	H30. 9. 2 /鳥取市青谷町地内	国史跡青谷上寺地遺跡、青谷横木遺跡で確認された古代山陰道の延長推定ルートを中心にセンター職員の解説付でウォーキングした。古代山陰道のPRにつながった。	57人
絶景を楽しもう！大崎城ウォーキング	H30. 10. 7 /鳥取市小沢見地内	羽柴秀吉の因幡攻めの資料にも登場する海城「大崎城」をセンター職員の解説付きでウォーキングした。参加者から好評を得、小沢見地区の方々にも地域の山城活用が喜ばれた、	64人

因幡万葉ウォーキング	H30.11.3 /鳥取市国府町地内	国史跡因幡国庁跡、弁天島（国司の館の庭園跡）を中心に古代都市因幡国府の推定エリアをセンター職員の解説付でウォーキングした。以外と知られていない古代の因幡国の中心地やそこにある埋蔵文化財センターについてPRすることができた。	38人
風雲！天神山城	H30.11.23 /鳥取緑風高校	県史跡展示山城跡を舞台に天神山城を中心とした中世の歴史講座、中世城館の構造等を体験できるイベントを開催した。県指定であるにも関わらず認知度の低い「天神山城」のPRにつながった。	51人
古代山陰道ウォーク パート2	H30.12.16 /鳥取市青谷町地内	踏査で確認した切り通しの跡など古代山陰道跡の候補地をセンター職員の解説付でウォーキングした。参加者からはこれからの古代山陰道の調査研究への期待する声があった。	45人
企画展「玉 - 古代を彩る至宝 -」	H30.10.23～12.9/江戸東京博物館（東京都墨田区）	鳥取県の弥生時代の玉文化について、首都圏に情報発信を行い、6万人の来場を見たほか、期間中には鳥取県のミニ講座も行った。	6万人
冬休みスペシャルイベント	H30.12.25～H30.12.28 /埋蔵文化財センター	青谷横木遺跡で出土した「女神群像」板絵をテーマにした「古代女子群像扇子作り体験」など、6つの古代体験コーナーで冬休み中の子ども達が歴史体験をできるイベントを開催した。	57人

(4) 見学者数

ア 埋蔵文化財センター展示室

(平成30年12月31日現在)

(単位：人、件)

一般	児童・生徒	合計	備 考
1,170人	147人	1317人	一般 … 個人1170人 児童等 … 団体147人(5件)

イ 青谷調査室収蔵展示室

(平成30年3月31日現在)

(単位：人、件)

一般	児童・生徒	合計	備 考
434人	34人	468人	一般 … 個人198人、団体14件(236人) 児童等 … 個人4人、団体4件(30人)

(3) 出前講演(「古代歴史への誘い」事業)参加者数

(平成30年12月31日現在)

(単位:件、人)

開催地	28年度	29年度	30年度	備 考
県内	1391	992	583	
県外	422	332	143	

2.3 埋蔵文化財関係職員等の研修

(単位:日、人)

研修名	計 画 (A)			実 績 (B)			(B) - (A)		内 容 及 び 会 場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
基礎研修	H30.6.26	1	19	H29.6.26	1	14	1	△5	<内容>新採や経験の浅い市町村の埋蔵文化財担当者を対象とした研修。埋蔵文化財行政の基礎講座や現地実習を行い、発掘調査に必要な知識や技術の習得を図った。 <会場>倉吉市小鴨公民館及び鳥取県教育文化財団「山ノ下遺跡」調査現地
遺物・調査検討課程	H30.2.15	1	30	H30.2.15	1	40	1	10	<内容>「律令期の土器」をテーマとし、講義や実習を通して遺跡の評価につながる年代決定の方法や土器の分析方法について学び、知識や技能の習得を図る。 <会場>埋蔵文化財センター
合 計	—	2	49	—	2	54	2	5	

2.4 文化財保護の資料収集及び活用状況

・写真資料のデジタルデータ化

埋蔵文化財発掘調査の成果品であるポジフィルムが経年劣化する以前に画像をデジタルデータ化し、コンパクトディスクへ保存した(2遺跡の2,466枚を実施)。

2.5 出土品の整理及び公開状況

(1) 土器の復元及び木製品の再整理

- ・展示等で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した。(1遺跡 21点)
- ・収蔵している木製品の保存性をより高めるため再整理作業を実施した。(1遺跡 28点)

(2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会場	会期	内容
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	H29. 4. 1 ～H30. 3. 31	埋蔵文化財センターの収蔵品である青谷上寺地遺跡、桂見遺跡、青谷横木遺跡、長瀬高浜遺跡、本高古墳群などの出土品を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。また、青谷横木遺跡出土「女子群像」板絵やその復元品の特別公開、因幡国庁や国分寺に関する企画展示、県立博物館で開催する「発掘！因幡の遺跡展」と連携した企画展示なども行った。
来て！見て！！さわって！！とっとり考古学講座	東部展 イオン鳥取北店 中部展 倉吉パープルタウン 西部展 イオン日吉津店	H30. 7. 27～29 H30. 9. 28～30 予定	「古代の土木技術」をテーマとしたパネル展示や出土品の展示を行い、国内最古級の本高弓ノ木遺跡の土のう積みや青谷横木遺跡の古代山陰道に用いられた敷葉・敷粗朶工法など近年鳥取西道路を中心に発見された土木技術を紹介した。また、タッチングコーナーでは本物の縄文土器（3000年前）などに触ってもらい、土器パズル体験コーナーも実施した。
夏休み特別展示	鳥取県埋蔵文化財センター	H30. 8. 6～24	夏休み中、期間限定で土日開館し、青谷横木遺跡の全国2例目の「女子群像」板絵や勸請板などを特別展示した。
秋の企画展示	鳥取県埋蔵文化財センター	H30. 11. 3 ～12. 28	因幡国庁、因幡国分寺、古代山陰道関連の出土品を展示し、埋蔵文化財センターがあるエリアが古代因幡の国中心エリアであった歴史を紹介した。
新春特別展示 第1弾	鳥取県埋蔵文化財センター	H30. 1. 15～30	青谷横木遺跡出土の全国2例目となる「女子群像」板絵の復元品完成お披露目展を開催。作られた当時の板絵の姿を紹介した。
新春特別展示 第2弾	鳥取県埋蔵文化財センター	H30. 2. 4 ～3. 28	鳥取西道路建設時の発掘調査担当者の企画による「こだわりの一品展」を県立博物館で開催の「因幡の遺跡展」の関連イベントとして開催する。
企画展「発掘！因幡の遺跡展」	鳥取県立博物館 第3特別展示室	H30. 2. 23 ～H30. 3. 17	近年、鳥取県東部の発掘調査（鳥取西道路等）で出土した膨大な出土品の中から、選りすぐりの逸品約700点を展示公開予定。実際の発掘調査担当者による展示解説や、バスによる関連遺跡の探訪、流しびなづくり体験などの関連イベントも実施予定。
埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室常設展示	埋蔵文化財センター青谷調査室 収蔵展示室	H30. 4. 1 ～H31. 3. 31	青谷上寺地遺跡で出土した木製品を中心に収蔵を兼ねて約250点を展示公開している。また、ETV特集で取り上げられ、NHKから寄贈を受けた人間国宝製作の作品3点と、その際に併せて復元製作された鉄製品をはじめ、緑土が塗られた楯の復元品等も展示公開している。

(3) 出土品等の貸出

ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
県立博物館	
鳥取市教育委員会	土器パズル 1 点
古代歴史文化協議会	青谷上寺地遺跡、笠見第 3 遺跡、松原田中遺跡出土資料 6 5 点
県立公文書館	吉定 1 号墳出土資料 2 点
県立博物館	桂見遺跡出土資料 1 点、土器パズル 1 点
鳥取市鳥取砂丘・ジオパーク 推進課（あおや郷土館）	青谷上寺地遺跡出土木器等のレプリカ 9 点
出雲弥生の森博物館	青谷上寺地遺跡出土石器 2 点
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡出土脳のレプリカ 2 点
国立科学博物館	青谷上寺地遺跡出土人骨 4 点

イ 写真ネガ等の貸出

貸出先	貸出物
古代歴史文化協議会	青谷上寺地遺跡出土ヒスイ製勾玉ほか 7 点
株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	桂見遺跡出土弥生土器 1 点
古代歴史文化協議会	笠見第 3 遺跡出土管玉未完成品ほか 3 点
株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	桂見遺跡出土弥生土器 1 点
協同組合島根県鐵工会	青谷上寺地遺跡出土木製品、鉄製品 3 点
鳥取市教育委員会	本高古墳群 2 点
公益財団法人広島市文化財団	下坂本清合遺跡出土埋蔵銭 1 点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷横木遺跡出土「女子群像」板絵ほか 7 5 点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷横木遺跡出土「女子群像」板絵実測図 1 点
北栄みらい伝承館	長瀬高浜遺跡出土畠跡ほか 2 点
島根県埋蔵文化財調査センター	新井石舟塚 1 点
株式会社世界思想社教学社	長瀬高浜遺跡出土土師器 1 点
奈良文化財研究所	松原田中遺跡出土布堀建物跡ほか 7 点
ハーベスト出版	米子城・城下町第 2 1 次調査 1 点
株式会社洋泉社『歴史REAL』	青谷上寺地遺跡出土人骨画像データ 計 1 点
株式会社あしたの為のDesign	青谷上寺地遺跡出土木器画像データ 計 1 点
青谷上寺地遺跡を学ぶ会	青谷上寺地遺跡出土ガラス玉等画像データ 計 5 点
株式会社幻冬舎ルネッサンス新社	青谷上寺地遺跡空撮画像データ 計 1 点
国立歴史民俗博物館	青谷上寺地遺跡出土青銅器等画像データ 計 4 点
国立歴史民俗博物館	青谷上寺地遺跡出土人骨画像データ 計 1 点
出雲弥生の森博物館	青谷上寺地遺跡出土人骨画像データ 計 2 点
大阪府立弥生文化博物館	青谷上寺地遺跡出土ガラス玉等画像データ 計 1 点
個人	青谷上寺地遺跡出土木器画像データ 計 1 点
NHK鳥取放送局	青谷上寺地遺跡弥生時代景観CG等画像データ 計 3 点
テレビ朝日	青谷上寺地遺跡出土骨角器画像データ 計 1 点
NHK鳥取放送局	青谷上寺地遺跡空撮画像データ 計 1 点
出雲弥生の森博物館	青谷上寺地遺跡出土石器画像データ 計 2 点
NHK鳥取放送局	青谷上寺地遺跡人骨出土状況画像データ 計 1 点
株式会社日本入試センター	青谷上寺地遺跡出土骨角器画像データ 計 1 点
新日本海新聞社	青谷上寺地遺跡出土獣骨画像データ 計 1 点

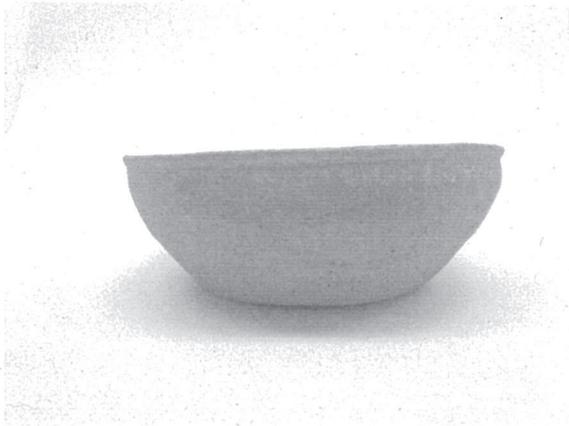
朝日新聞鳥取総局	青谷上寺地遺跡人骨出土状況等画像データ 計2点
読売新聞鳥取支局	青谷上寺地遺跡出土人骨画像データ 計1点
国立科学博物館	青谷上寺地遺跡人骨出土状況画像データ 計1点
株式会社ガッツエンターティメント	青谷上寺地遺跡弥生時代景観CG画像データ 計1点
NHK鳥取放送局	青谷上寺地遺跡人骨出土状況画像データ 計3点
大阪府立弥生文化博物館	青谷上寺地遺跡出土ガラス玉等画像データ 計1点
山陰放送コンテンツ局制作部	青谷上寺地遺跡弥生時代景観CG等画像データ 計8点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土石器等画像データ 計48点

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 無し

(2) 監査委員事務局に対する要望等 無し

土器再整理 (復元)



木器再整理 (保存処理)

